

第9回講演会・講習会を開催！

8月21・22日（火・水）、今年は大阪府立生野聾学校と大阪府社会福祉会館を会場に、第9回講演会・講習会を開催しました。目白大学 保健医療学部言語聴覚学科教授 齋藤佐和先生の講演会、また21講座に会員の皆様をはじめ250名以上の参加者がありました。毎年続けてご参加いただく方もおられ、1年に1度活気あふれる講習会を開催できることは本会としてもうれしい限りです。また、会場をお借りしました大阪府立生野聾学校には、厚くお礼申し上げます。

写真や参加者のアンケートからの感想を交えて第9回講演会・講習会を振り返りたいと思います。



～講演会～

『聴覚障害児の言語習得・言語指導』

講師：目白大学保健医療学部言語聴覚学科

教授 齋藤佐和先生

8月22日（水）午前の講演会では、講師に目白大学教授の齋藤佐和先生をお招きし、「聴覚障害児の言語獲得・言語指導」についてご講演いただきました。長年、聴覚障害児教育に携わられたからこそその、具体的に説得力のある内容だったと思います。

また、特別支援教育へとの変換を迫られ、大きく変わっていかようとしている現場としての聾学校や聾教育のこれまでの長い歴史の変遷についても語られ、ある反面、「歴史は繰り返される」を実感できる内容もありました。その中にある変わらないものとして、「日本語の獲得」については日本語の構造をどう子どもものにするのか、話しことばと書きことばによるコミュニケーションにおいて日本語をどうすれば自由に使えるようになるのかとの命題に聾学校は取り組んできたのだということが確認できました。

「日本語を獲得」するためには対話を重視し、確実なコミュニケーションを積み重ね、日々の親子関係の中からはぐくまれる生活の中での言語から子どもの世界を拡げていくことも重要となります。豊かな人間関係の対話から「5才の坂」を経て、体でわかる世界から、ことばでわかる世界、すなわち生活言語から学習言語へどのようにつないでいくか。それを可能にする指導が聾学校には常に求められてきたのではないかと思います。

聾学校の専門性ということはコミュニケーション・ことばを育てることであり、その実現のために日常の会話から、読み書き能力、聴覚活用、視覚サインの適切な活用等について常に意識しながら関わる子どもを育てていくことにつながるのだとお話でした。



～講習会～

8月21日・22日の2日間にわたって、講習会が開かれました。

各講座とも多くの参加希望がありました。その中でも神戸大学の森 美沙子先生による『言語指導へのアプローチ（基礎編）』と、大阪市立聾学校の中瀬先生による『語音検査』には多くの参加者があり、関心の高さが伺えました。新たに設けた『一般学級における支援』については、来年もまた開講してほしいとの声が多くありました。また、医療現場のドクターによる『聴覚生理』については、最新の情報が得られてたいへん参考になったという感想がありました。

講習会・講習会アンケートから

～講演会について～

- ・ 今日の講演を聞いて、生活言語から学習言語へ全教育活動を通してしっかり力をつけていくことが大切だと感じました。言語は伝えたり、理解したり、思考を深めたり、人格をつくり上げていく中で大変重要な素因になると思いました。
- ・ 対話の中で、ことばの意味に「ゆらぎ」が起きたとき、頭の中にしっかりと、新しいことばの意味や使い方が定着する、というお話を聞いて、日常会話のときにも、もっと注意していこうと改めて思いました。ありがとうございました。
- ・ 何年かぶりに齋藤先生のおはなしをききました。不易と流行について感じ入りました。大切なものは何なのか、初心に戻ることの大切さを思いました。聴覚活用、手話活用おりあいのつけ方、よくわかりました。ありがとうございました。

～講習会について～

「教育オーディオロジーの基礎」

- ・ きこえのしくみから、音響のこと聴力検査など、基礎的な話から原理を判りやすく説明してもらったので大変有難かったです。また補聴器やオージオメータを実際に手に取ったり、扱ったりすることを通して、より具体的に理解できました。

「聴覚学習」

- ・ 生徒へのコミュニケーション手段は手話やキュードが中心だと思っていたので、100dB以上でも聴覚を活かすことができるのかとおどろきました。

「福祉制度」

- ・ 考えることの多い内容で、学校から見ているだけではわからない側面を見、気付かせてもらった気がします。

「言語指導へのアプローチ」

- ・ 日本語教育の視点から、様々なアプローチ法を知ることができ、よかったです。ろう学校の現場でもとり入れられそうなところが沢山あり、二学期からの実践で工夫していきたいと思えます。



(上：人工内耳 下：補聴器特性)

「発音指導」

- ・ 発音指導とは、きれいな発音を目指すことだけが目標ではないというお話が、とても印象的でした。子どもの他者とかかわる力、更には言語面まで伸ばすことを目指していらっしゃる河内先生の指導に感激しました。また様々な具体的な指導方法についても伺うことができ、大変参考になりました。ありがとうございます。



「聴覚生理」

- ・ 専門的な内容をわかりやすくていねいに話していただき、すごく勉強になった。又、ドクターの立場からの生理学的な話もわかりやすく聞かしていただきありがたかった。

「一般学級における支援」

- ・ 支援ができる聾学校の存在は大きいと思う。ここに参加した聾学校以外にも広めてほしい。近畿地区は進んでいるのですね。うらやましく思います。



「語音検査」

- ・ 大へん益になった。たくさんの事例より何を読みとるべきか、何を課題とすべきかを教えていただき、今後の保育に活かしていきたいと思った

(上：発達検査 下：音響学の基礎)

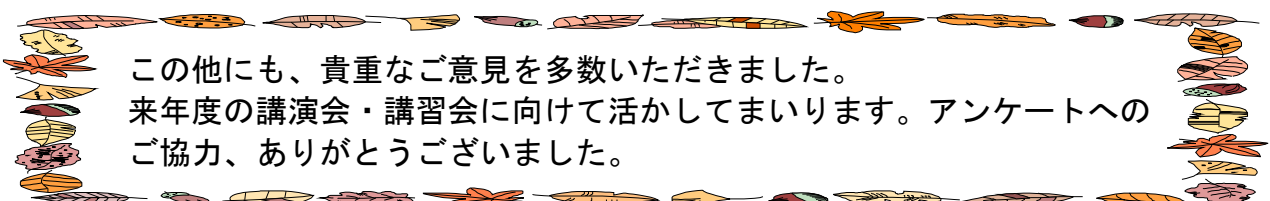
その他、たくさんの感想をいただきました！



(左：難聴学級の取り組み 中：聞こえのしくみと知っ得基礎知識 右：補聴器の保守管理)

～来年度への希望～

- ・ 「通常学級の中での支援について」の分科会は今後も続けて頂けたらと思います。初めて、難聴や言語の担任をするものにとっては、いろんな分科会があることや入門コース的な講座があるのはありがたいことです。
- ・ 地域支援、ろう学校の役割についての講座はぜひ続けて頂きたいです。内部外部の支援についてバランスのととり方についてはこれからの課題になるのではないのでしょうか。
- ・ 聴覚障害を持つことの心理面での問題について。
- ・ 聴覚生理は毎年大変参考になる、DrやSTなど専門的な話を聞きたい。
- ・ 話しことばから書きことばへの移行。日本語習得が難しい子どもたちへのアプローチ。



この他にも、貴重なご意見を多数いただきました。
来年度の講演会・講習会に向けて活かしてまいります。アンケートへのご協力、ありがとうございました。

今後の活動計画

平成19年11月4日(日)

秋の講演会(味覚糖 UHA 館)

『特別支援教育元年～特別支援教育の現状と課題』

宍戸 和成先生(文部科学省 視学官)

非会員1,000円

12月中旬

冬の学習会案内、機関紙22号発行

平成20年 1月22日(火)

第3回代表委員会および専門研修会(大阪市立聾学校)

2月11日(月・祝)

冬の学習会(大阪市立中央青年センター)

『高等教育機関に学ぶ聴覚障害者の現状とその支援』

白澤 麻弓先生(筑波技術大学 准教授)

※今年度の冬の学習会は日本教育オーディオロジー研究会上級講座(2月9～11日)に協力し、公開講座として共催します。

3月中旬

集録の発行・機関紙23号発行



各地の研究会情報

この秋、各地で研究会が数多く開かれます。参加ご希望の方は詳細を確認の上ご参加ください。

第6回共同研究会および 難言研10月例会

日時:平成19年10月23日(火)

13:50～受付

14:10～椿井小学校の自立活動の取り組み

14:40～公開授業(6年生)

15:35～研究協議

場所:奈良市椿井小学校

問い合わせ先:

奈良市椿井小学校きこえの教室

FAX:0742-23-7063

※別途申込書があります。

※駐車場は有料駐車場となります。

締め切り:10月12日(金)

詳細は本会のホームページ等をご覧ください

京都聴覚障害教育研究会 平成19年度第3回研究会

日時:平成19年12月1日(土)

時間は未定です。

内容:京都府聴覚支援センターについて(仮)

京都府立聾学校

校長 箕谷健三氏

京都北部聴覚支援センター

について(仮)

京都府立聾学校舞鶴分校

芦田雅哉氏

問い合わせ先:

京都府立聾学校聴能言語室

細矢義伸

TEL:075-461-8137

FAX:075-461-8122

学校公開のご案内

学校公開のご案内をします。必ず事前に、該当校担当者宛、参加の可否等詳細をご確認ください。

☆京都市立二条中学校難聴学級

日時:11月20日(火)

午後2時15分～授業参観

午後3時10分～説明会

締め切り:11月5日(月)

問い合わせ先:

京都私立二条中学校

難聴学級担当 高井小織

TEL:075-821-1196

FAX:075-821-1197

☆兵庫県立こばと聴覚特別支援学校

日時:平成19年10月28日

9:20～受付

9:40～公開保育

前日までに電話、ファックス、メールで申し込んでください。

※当日の写真、ビデオ撮影はお断りします。その他詳細はホームページをご覧ください。

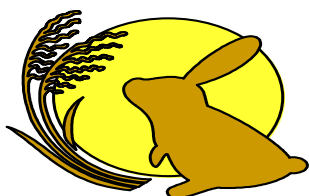
問い合わせ先:

こばと聴覚特別支援学校

TEL:0798-53-5061

FAX:0798-53-5062

Mail:kobato-ro@hyogo-c.ed.jp



近畿教育オーディオロジー 研究協議会事務局

〒639-1122

奈良県大和郡山市丹後庄町456

奈良県立ろう学校内

事務局長 中井 弘征

TEL:0743-56-2921

FAX:0743-56-8833

メール:h-nakai@indigo.plala.or.jp